

文化伝承創造都市・千曲

現行の第三次千曲市総合計画では、市の将来像を「人をてらす人をはぐくむ人がつながる月の都」文化伝承創造都市・千曲」と掲げ、市一丸となって市内のさまざまな魅力を次代に伝承し、磨き上げ、進化させ、そして、新たな文化を創造する持続可能なまちづくりを進めています。

人をてらす

千曲市の「日本遺産・月の都千曲」にちなんで、月明かりのように、誰にもやさしく、全ての「人をてらす」ことで、誰一人取り残さない共生のまちを目指しています。

中でも高齢化が進む現在、誰もが健康で安心して暮らせるよう、発症予防や重症化予防を目的に、特定健診に力を入れています。

平成20年度、本市の特定健診受

診率は長野県内19市中最下位でした。そこで市民の皆さまに健診の大切さについてご理解いただくため、保健師・管理栄養士による訪問や電話などにより丁寧に関わりかけを行ってまいりました。その結果、多くの市民の皆さまに受診いただけるようになり、令和5年度の「特定健診受診率」および「特定保健指導実施率」は、19市中1位に向上しました。

この他にも近年では、精神障がいをお持ちの方への福祉医療費給付対象範囲の拡充や非課税世帯の産後ケア無償化を実施するなど、

この他にも近年では、精神障がいをお持ちの方への福祉医療費給付対象範囲の拡充や非課税世帯の産後ケア無償化を実施するなど、



ライトアップされた棚田から、明月と千曲市の夜景を望む



秋晴れの空の下、実り豊かな稲穂が映える棚田

支援が必要な方々へのサポートを広げ、市民一人ひとりに寄り添った施策を進めているところです。

人をはぐくむ

本市では令和6年3月、全ての子どもが幸せに暮らせるよう、千曲市「子どもまんなか宣言」を行いました。

その実現に向けて、令和6年度

は、新たな住民参加プラットフォーム「ポリネコ!CHIKUMA」(第19回マニフェスト大賞シテイズンシップ部門優秀賞を受賞)を活用し、子どもが意見を表明でき、行政と双方向のコミュニケーションを取れる場を設けました。今後さまざまな形で子どもたちの意見を募り、子どもの視点を大切にしたい施策を推進してまいります。

この他にも、子どもの福祉医療費給付金の対象年齢の拡大、妊娠期から子育て期までの一貫した伴走型相談支援、保育料無償化の拡大、妊娠時・出産時の経済的支援、子ども家庭センターの設置など、多岐にわたる子育て支援策を展開しています。

「学び」の場面においても、学童期の学びは生きる力の礎となるため、ICTを活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進め、基礎学力の向上を図りながら探求的な学びの定着につなげています。

本市は子育て世帯の転入が多い



千曲市の特産品のアンズ

「人がつながる」という形はさまざまありますが、本市では、市内に移住・定住していただく「新たなつながり」も大切にしています。本市は9年連続で転出者よりも転入者が多い「社会増」を達成し、「新たなつながり」が着実に生まれてきています。

移住先に本市を選んでいただいた主な理由は、主要都市へのアクセスの良さや、自然に恵まれ地域資源が豊富なことに加え、スーパー・ドラッグストアなどの生活利便施設が多いことも魅力に感じてもらっています。

令和6年度には移住・定住を推進する取り組みとして、移住から定住までをサポートするサイト「ちくま、つく間に。」を開設しました。

当サイトでは、移

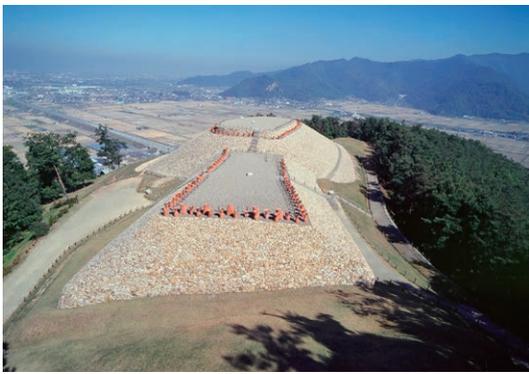
人がつながる

ことから、今後も子育てしやすい環境づくりに取り組み、「人をはぐくむ」ことを大切にした魅力あるまちづくりを進めてまいります。

また、「移住の心構え」や「仕事とキャリア」など、分野別のQ&Aを100以上掲載し、移住に関する疑問や不安の解消の一助としていただけるような工夫もしています。

このほかの「人がつながる」取り組みとして、県内屈指の交通の要衝である本市の強みを生かした都市基盤・社会資本の整備も進めています。

具体的には、令和5年度に事業



長野県最大の前方後円墳「森將軍塚古墳」

化が決定した関越自動車道上越線への(仮称)屋代スマートインターチェンジの設置、市内を縦断する産業連携ネットワーク道路の整備、産業団地の開発などに取り組んでいます。

こうしたインフラの整備によって企業誘致が図られることで多様な雇用場が生まれ、人々の移住・定住につながっていきます。さらに、交通網が整備されることで、

プロフィール



千曲市長
小川修一

◆面積 119.79 km²
◆人口 5万7525人
◆世帯数 2万2804世帯

〔将来都市像〕人をてらす 人をはぐくむ人がつながる 月の都 文化伝承創造都市・千曲

〔まちの特徴〕長野県の交通の要衝として発展を続け、豊かな自然と地域資源、歴史・文化的遺産に恵まれたまち

〔市町村合併〕平成15年9月1日、更



埴市、戸倉町、上山田町の1市2町が合併

〔特産品〕アンズ、トルコギキョウなどの花卉、リンゴ、ブドウ

〔観光〕日本遺産月の都(姨捨の柵田など)、あんずの里、戸倉上山田温泉、戸倉宿キティパークなど

〔イベント〕戸倉上山田温泉夏祭り、煙火大会、信州さらしな・おぼすて観月祭、森將軍塚まつり、あんずまつり、千曲川ハーフマラソン大会など

産業や観光、地域経済の活性化が図られ、これまで以上に人やモノの「新たなつながり」が生まれることを期待しています。

千曲市は令和5年度、市制施行20周年を迎えました。この「市の将来像」の実現に向け、10年先、20年先も「住み続けたい」と実感でき、心豊かに笑顔で暮らせるまちづくりに引き続き取り組んでまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「千曲市人口統計月報(令和7年1月)」による。

わが

住みよい江戸川区を守り、 未来へ希望をつなぐ

江戸川区は東京23区の一帯東に位置する、水とみどり豊かな人情あふれるまちです。公園面積は23区最大で、全国初の親水公園や、都内初のラムサール条約湿地に登録された葛西海浜公園など、都市部でありながらさまざまな自然に触れることができます。



水とみどり豊かな江戸川区

年少人口は全国でも上位で、若く活気があるまちであるとともに、後期高齢者医療制度の区民1人当たりの医療費は23区で最も低く、元気な高齢者が多いまちでもあります。また、外国籍の区民も多く、特にインド人の数は国内最多で、年齢や国

籍を問わず多様性のあるまちです。

将来のリスクと向き合う 取り組み

現在69万人の多様な人々が暮らす本区ですが、推計によると、2100年には人口が現在の半分になり、歳入は6割減になるとされています。また、公共施設も老朽化し、建て替えには莫大な費用がかかります。このままでは、いずれ歳入と歳出のバランスが崩れてしまいます。

今の住みよい江戸川区を守り未来へつないでいくためには、今から動き出さないと手遅れになってしまいます。そんな強い危機感のもと、本区では多くの区民の声を聴きながら、いわゆる長期構想である「2100年の江戸川区(共生社会ビジョン)」を策定し、目指すべき

未来の姿について、数年にわたり区民と一緒に考えてきました。

大規模な区民アンケートを実施

そうした流れの中で、令和6年10月には、区が目指すべき方向性について区民アンケートを行いました。

人口減少に伴い歳入が減ると、行政サービスの水準と区民負担のバランスが崩れ、持続可能な区政運営を行っていくことが難しくなります。このようなマイナスイメージの未来はできれば語りたくないものですが、区

の将来の姿が推計として見えていく以上、ありのままを区民に示し、その声を真摯に聴いて今後区が目指す方向性を決めていくことが必要だと考えました。

区民アンケートを実施

アンケートは、3択で行いました。選択肢の一つ目は「高サービス・高負担」。これは、現在の高い水準の行政サービスを維持するために、負担が大幅に増えるというもの。二つ目は「中サービス・中負担」で、行政サービスの水準を一部見直すとともに、負担も一部増えるというもの。三つ目は「低サービス・低負担」で、行政サービスの水準を大幅に見直す一方、負担は現状を維持するというものです。

アンケートを実施するに当たり、広報誌、SNSや動画、ポスターによる呼びかけ、区役所の来庁者やイベント参加者への声掛け、さまざまな団体を通じたお知らせなど、あらゆる手段で



イベントなどでアンケートの回答を呼びかけ

回答を呼びかけました。その結果、4万6000人を超える方から回答をいただき、8割の方が「中サービ

ス・中負担」を選択する結果となりました。

この結果を踏まえ、区は今後の方向性を「中サービ

ス・中負担」に決定しました。令和6年12月にはこの方向性に基づいて検討した具体的な施策の内容を公表し、今年1月末までパブリック・コメントを行いました。いただいたご意見を参考にしながら、各種行政サービスの再構築や、施設使用料などの受益者負担を適正化する取り組み、公共施設の再編・整備など、多岐にわたる施策・事業について、今後一つ一つ前に進めていきたいと考えています。

人口減少を和らげ、将来を担う人材を育成する

ここまでご紹介したのは「人口減少に伴うリスクに備える」ための取り組みですが、「人口減少を

和らげる」ための取り組みも進めています。区はかねてより、出会いから結婚、妊娠・出産、そして乳幼児期から学齢期まで一人一人のライフステージに合わせて、望む方がその希望をかなえられる環境を整える「えどがわ50の子育てプラン」を実施していますが、この取り組みをさらに充実させていきます。

また、「経済成長を支える人材の育成（＝教育）」にも取り組んでいます。学力を定着・向上させるための取り組みや、お子さんの特性や家庭環境に応じた多様な学びで、誰一人取り残さない教育の場を提供する他、さまざまな体験を通じて健やかに成長し豊かな心を育むことなど、子どもたちへの



小・中学生による区の未来を考えるワークショップ

「教育」にも一層力を入れていきたいと考えています。

誰もが安心して自分らしく暮らせるまちを目指して

これらの取り組みに対しては、賛同するご意見だけでなく、批判的なご意見をいただくこともあります。しかし私たちの思いは、先人たちが築き上げてくれたこの住みよい江戸川区を、子どもたちの

ために未来につないでいきたいという、その一点に尽きます。いただいたご意見一つ一つを真摯に受け止めながら、見直すべきものは見直し、新たに力を入れていくものにはより力を注いでいきたいと考えています。そして、今を生きる区民とこれから生まれてくる子どもたちを守り、誰もが安心して自分らしく暮らせるまちを実現してまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 49.09km²
- ◆ 人口 69万3921人
- ◆ 世帯数 35万9861世帯

〔将来都市像〕一人ひとりを尊重し、誰もが安心して自分らしく暮らせる「ともに生きるまち」

〔まちの特徴〕水とみどりの豊かな公園や下町人情あるコミュニティとともに、人生のステージに応じた「えどがわ50の子育てプラン」を展開する子育てしやすい環境が魅力のまち



江戸川区長
齋藤 猛



〔特産品〕小松菜、花卉（バラ、アサガオなど）

〔観光〕魔法の文学館、行船公園（自然動物園・平成庭園）、新川千本桜、小松川千本桜、小岩菖蒲園、葛西臨海公園

〔イベント〕江戸川区花火大会、江戸川区民まつり、江戸川区特産金魚まつり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

せんなん 泉南市（大阪府）

泉南市長

やまもと ゆうま
山本優真

わが

いつまでも住み続けたいまちで あるために

自然豊かな環境

泉南市は、都心から40〜50kmの大阪府南部に位置し、市域には関西国際空港の約3分の1を含みます。南部の山間部には低い山々が

連なる和泉山脈いずみがあり、

丘陵部から平野部にかけては古くからの街並みと

新たに開発された住宅とが混在しています。また

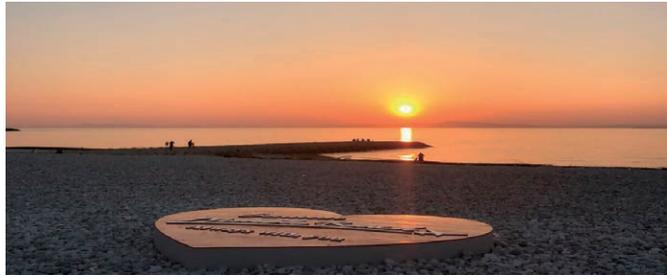
平野部においては泉州特産の農作物が栽培され、

空港対岸のりんくうタウンでは、製造業をはじめ

とする事業所が集積し、岡田と樽井にある両漁港

では大阪湾でとれた新鮮な海産物が水揚げされています。

臨海部には令和2年に



恋人の聖地の夕日

開業したSENNANLONG PARK（泉南りんくう公園）があります。民間の資金やノウハウを活用したPFI事業により誕生し、年間を通じて市内外から多くの方にご来場いただいております。令和6年は隣接するタリイサザンビーチに5年ぶりに海水浴場を開設し、本ビーチではビーチサッカー日本代表国際親善試合が開催され、今後はワールドマスターズゲームズ2027関西も開催予定です。またマールビーチは「恋人の聖地」「日本の夕陽百選」にも認定されています。

姉妹都市協定・国際交流

本市初の試みとしてフィリピン共和国ダバオ市と海外姉妹都市協定を締結しました。フィリピン南部ミンダナオ島の中心都市である



姉妹都市協定調印式

ダバオ市は、マニラ、セブに続く第3の都市であり、人口も増加し続けているなど、ますますの経済成長が見込まれています。平成29年に市内の福祉事業所で開催されたダバオ使節団の歓迎式をきっかけとし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも姉妹都市協定締結に向けてオンライン会議

を重ねました。令和4年11月に本市使節団がダバオ市を訪れ、セバスチャン・ドゥテルテダバオ市長を表敬訪問し、姉妹都市に関する覚書に署名。令和5年4月に本市にて姉妹都市協定締結の調印式を執り行いました。調印式と同日はダバオ市の企業と本市に関連する企業が交流を図るビジネスフォーラムも開催。これらは在ダバオ領事館や外務省・大阪府の関連機関や関係者の皆さまのご支援、ご協力なくしては実現することはできませんでした。



オンライン国際交流



「船のエリア」

るまちとして、本市だけではなく大阪・関西全体への経済的連携構築の一翼も担っております。ダバオ市との国際交流は、本市が国際化・多文化共生のまちを目指す第一歩であり、今後も協力

姉妹都市協定には相互に協力し、相互の発展を目指すことが記されており、本市の子どもたちにもグローバルな視点で物事を捉え、国際コミュニケーション能力を身につける機会を提供するため、令和5年5月より市内小中学校においてダバオ市のフィリピン日本人会国際学校とのオンライン交流を実施しています。この取り組みは内閣官房が実施する万博交流プログラムモデル事業として認定され、本市はフィリピンのホストタウンとして取り上げられました。加えて、本市が企業や団体などからの情報やニーズをダバオ市側へ伝える窓口のような位置づけとなり、関西国際空港を市域に有する

提携関係を一層深化させてまいります。

子どもに優しいまちづくり

「子どもに優しいまち」「子育てしやすいまち」にしたいという思いから、天候に左右されることなく年間を通じて安全・安心な環境で乳幼児が生き生きと遊べる『乳幼児の遊びの広場SENNAN LITTLE PARK』を、令和6年4月にオープンしました。

暑い夏、寒い冬、雨の日にも遊ぶことができるよう室内に大型遊具を設置した『りるば』は、豊かな自然をイメージした三つのエリアがあり、年齢や目的に沿った遊具等で繰り返し遊ぶことで成功体験を重ね、さらに挑戦しようという気持ちを育てるアイデアが盛り込まれています。感性や知性、協調性を育み、健やかな成長をサポートする子どもの居場所として、また保護者の方々にも情報交換の場として市内・市外在住を問わずご利用いただいています。

総合福祉センター内に設置したことで、子どもから高齢者まで多世代の交流ができる場となり、ま

た地域子育て支援センターやファミリー・サポート・センターも同施設内にあるため、ここに行けば誰かとながら安心して遊ぶことができる施設となっております。

おわりに

た未来予測を確立し、事業実施における投資と回収を見極め、また公民連携による民間技術や知見、資本の活用の可能性についても考えています。

時代に合わせた改革で、次代に引き継ぐ強くしなやかな泉南市を創り上げ、市民の皆さまに市への愛着と誇りを持っていただき、「いつまでも住み続けたいまち」であるためにこれからも全力を注いでまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 48・98 km²
- ◆ 人口 5万8255人
- ◆ 世帯数 2万6757世帯

〔将来都市像〕ちよつとええやんなかなかええやん、かんじるつながらひろがる住人十色のまちせんなん

〔まちの特徴〕海、山の豊かな自然に恵まれ、関西国際空港・鉄道・高速道路による交通アクセスにも優れた住みやすいまち



泉南市長
山本優真



※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

人と経済が循環し、楽しみや笑顔が溢れる 「サーキュラー都市・薩摩川内市」を目指すまちづくり

令和元年5月8日、私は「SDGs バッジ」を身に付けて、県議会議員として県議会に臨んでいました。当時、私は、SDGsの重要性を強調し、地域社会への啓発とメッセージを込めて「SDGs バッジ」を身に付けました。鹿児島県議会で「SDGs バッジ」を付けたのは、この時の私が初めてだったのです。



薩摩川内市の風景

令和2年11月7日、私は薩摩川内市長に就任しましたが、当時は新型コロナウイルス感染症の影響で市民生活や経済活動が大きな影響を受けていました。このような困難な状況を乗り越えるために、私は「未来創造」と「地方創生」

を両立した「未来創生ビジョン」を掲げました。その中の重点テーマが「SDGsの実現」と「カーボンニュートラルの達成」だったのです。

「SDGs チャレンジ」をキーワードに楽しく、笑顔が湧き上がり、人が集うまちづくり

令和3年6月8日、私は、市議会で「薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言」を行い、市民や事業者等と連携しながら、持続可能で魅力的なまちづくりのためにSDGsにおける「誰一人取り残さない」の理念の下、社会・環境・経済の三側面における統合的な取り組みと2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ薩摩川内」の実現に向けた取り組みを

合わせた政策指針を県内で初めて宣言しました。

SDGs 実現のためには、一人の市民や事業者等の理解と協力が不可欠であるため、令和4年度から市民参加型の「SDGs チャレンジ市民勉強会」や「SDGs チャレンジシンポジウム」を開催し、「チーム薩摩川内」としての機運醸成を図りながら、市民が主役となる「SDGs チャレンジ」の行動の輪を広げていきます。

また、産官学金連携の促進や取り組みの裾野拡大を図るための登録制度「薩摩川内市SDGs・カーボンニュートラル登録



サーキュラーパーク九州株との立地協定調印式

的展望」を発表し、その中に「サーキュラーパーク九州構想」を掲げました。現在、九州電力（株）川内（火力）発電所（令和4年4月廃止）跡地では、地域の象徴でもある高さ約200mの煙突を含めた敷地内設備の撤去工事が

制度」（1月10日時点の登録団体数・140団体）や多様なステークホルダーの強みを生かす「薩摩川内市SDGsチャレンジ協議会」（会員数・35団体）を運営しながら、施策の相乗効果や波及効果につなげることを目指しています。

「資源」だけでなく、「人」と「経済」が循環するまちづくり

令和4年2月14日、世の中がコロナ禍で混沌不透明な中、私は、市長戦略方針として、「アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期



サーキュラーエコノミーに関する車座対話



オランダ視察団の受け入れ（自治会集積所）

CPQの特徴は、リソーシング事業（再資源化事業）およびソリューション事業（研究開発等による課題解決事業）、体験事業（来訪者や市民向けサービス）の相互連携による事業展開です。

CPQでは、既に市内外の企業や大学との連携の下、食品残渣の堆肥（飼料）化や太陽光パネルリユース・リサイクルの事業化に向けた取り組みが始まっています。

サーキュラーエコノミーの加速化につながるCPQ事業への関心や期待は高く、市内外の企業や大学等に加え、サーキュラーエコノミーを世界的にリードするオランダや先端技術の研究開発が盛んな台湾の視察団の受け入れも行っています。

このCPQを核とする当市の産官学金の有機的なつながりに着目いただき、私は、令和6年8月19日に首相官邸で行われたサーキュラーエコノミーに関する車座対話に出席しました。

また、11月からは、経済産業省の委託事業として自治体における資源循環システム構築に向けた一般廃棄物の再資源化実証も市内で始まっています。

CPQ以外には、市域をサーキュラーエコノミーなどのSD

る2030年に向けて資源循環の拠点として整備される計画です。

「サーキュラーパーク九州構想」は、火力発電所跡地をサーキュラーエコノミーと脱炭素化を実現する新たな挑戦の場と捉え直し、異業種連携や地域協調による実証実験の実施等を促し、サーキュラーエコノミーへの移行による持続的な社会構築を目指すものです。



CPQを見学する地元の小学生

行われています。この跡地（約32ha）は、令和5年7月に九州電力（株）と（株）ナカダイホールディングスが共同設立したサーキュラーパーク九州（株）（以下「CPQ」という。）によって、SDGsの達成年限である

源化事業）およびソリューション事業（研究開発等による課題解決事業）、体験事業（来訪者や市民向けサービス）の相互連携による事業展開です。

CPQでは、既に市内外の企業や大学との連携の下、食品残渣の堆肥（飼料）化や太陽光パネルリユース・リサイクルの事業化に向けた取り組みが始まっています。

サーキュラーエコノミーの加速化につながるCPQ事業への関心や期待は高く、市内外の企業や大学等に加え、サーキュラーエコノミーを世界的にリードするオランダや先端技術の研究開発が盛んな台湾の視察団の受け入れも行っています。

このCPQを核とする当市の産官学金の有機的なつながりに着目いただき、私は、令和6年8月19日に首相官邸で行われたサーキュラーエコノミーに関する車座対話に出席しました。

また、11月からは、経済産業省の委託事業として自治体における資源循環システム構築に向けた一般廃棄物の再資源化実証も市内で始まっています。

CPQ以外には、市域をサーキュラーエコノミーなどのSD

プロフィール

GSに関する実証実験のフィールドとして市内外の企業や大学等に提供する「SDGsイノベーショントライアルサポート事業」を行っています。

本事業では、トイレタリー製品のプラスチック包装の再資源化や家庭用廃食油の資源循環促進を旨とした分別回収モデルなどの実証実験が行われ、特にトイレタリー製品の分別回収実証については、全国初となる自治会の回収ルート

を活用したモデルが注目されています。

当市には48の地区コミュニティ協議会や546の自治会が存在し、市民と密接に連携したまちづくりを進めています。この地域の強みを生かし、「楽しく、笑顔がたっぷり、人が集うまちづくり（スマイルコミュニティ）」と「人と経済が循環するまちづくり（サーキュラー都市）」を実現することを目指しています。



薩摩川内市長
田中良二

〔将来都市像〕人と地域が躍動し心と活力のあるまち 薩摩川内 安

〔まちの特徴〕鹿児島県北西部にある本土区域と甑島区域からなる、都市部と田舎が程よく融合した北薩地域の中心都市であり、半導体部品や製紙などの製造業、発電所や電気設備業、地元

- ◆ 面積 682・92km²
- ◆ 人口 9万2403人
- ◆ 世帯数 4万995世帯

産品を活用した焼酎等の食品加工業などの二次産業が盛んなまち

〔特産品〕ラッキョウ、ちりめん、キビナゴ、ウナギ、焼酎、キンカン、甲冑

〔観光〕新田神社、甑島、入来麓武家屋敷群、藤川天神（臥龍梅）、旧増田家住宅

〔イベント〕川内川花火大会、川内大綱引、薩摩川内はんやまつり

〔イベント〕川内川花火大会、川内大綱引、薩摩川内はんやまつり

〔イベント〕川内川花火大会、川内大綱引、薩摩川内はんやまつり



※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「令和2年国勢調査」による。